



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月11日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 東  
 コード番号 2736 URL <http://www.sadamatsu.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 磯野 紘一 (TEL) 03-5768-9957  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績 (平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	4,782	5.9	68	—	47	—	2	—
27年8月期第2四半期	4,516	10.4	△163	—	△160	—	△116	—

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 △22百万円(—%) 27年8月期第2四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	0.25	0.24
27年8月期第2四半期	△10.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	6,936	1,433	20.3
27年8月期	6,926	1,473	21.0

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 1,407百万円 27年8月期 1,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想 (平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,600	4.5	170	34.5	140	23.6	25	65.5
								2.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期2Q	11,387,000株	27年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	137,470株	27年8月期	136,864株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期2Q	11,249,703株	27年8月期2Q	11,251,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年9月1日～平成28年2月29日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により企業業績や雇用環境の改善がみられたものの、新興国経済の減速や資源国の財政悪化等を受けた海外経済の下振れ懸念から停滞局面が続くなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する宝飾業界におきましては、インバウンド需要を下支えに都市部の百貨店が市場を牽引したものの、ブライダルジュエリーを中心とした企業間競争の激化に加え、本年年初からの円高・株安の進行により購買意欲の減退が一段と鮮明になるなど、厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループにおきましては、新中期5ヵ年計画の初年度として「競争優位性を進化させる」、「環境変化にイノベーションで対応する」、「ベースを固め経営基盤を強化する」の3つの基本方針を事業の中核と位置付け、当期施策にグループを挙げて取り組んでまいりました。

これらの取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5.9%増となりました。また、主力商品である“Wish upon a star”を基軸としたブランド力向上への継続投資に加え、積極的な販促施策を実施した結果、同商品の売上が前年同期比33.0%増と増収に寄与するなど、好調に推移しました。

年間最大の需要期である12月商戦におきましても、TVCM等の積極的な販促施策の効果により“Wish upon a star” Xmas限定商品が予想を上回る売れ行きとなるなど堅調に推移した一方で、前年同期比約2倍の供給量で対応したにもかかわらず欠品が発生し、機会損失を余儀なくされるなど需要予測や供給体制に課題が残りました。さらに、その他商品への需要取り込みが期待どおりに波及しなかったことに加え、特に当第2四半期後半以降に宝飾需要の低迷が鮮明となったことから、売上の伸びは限定的となりました。

利益面につきましては、人材強化に要する費用の投下に加え、Eコマース事業等の新規チャネル構築に向けた設備投資や新規出店・店舗改装に伴う費用が拡大したものの、前年同期に比べ広告宣伝費を抑制したため、販売費及び一般管理費は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。一方、ベトナム子会社の有効活用により“Wish upon a star”を中心とした同社製品の売上構成比が49.4%と全体売上の約半分にまで拡大するなど高付加価値商品の売上が増加したため、売上総利益率は前年同期比で1.3ポイント上昇しました。それに伴い、売上総利益が前年同期比8.1%増となったため、営業利益は前年同期に比べ大きく改善しました。

海外事業については、小売部門である在台湾子会社の台湾貞松股份有限公司(日本名:台湾貞松株)では、引き続きアジア戦略の重要拠点としての基盤整備と収益力の向上を進めた結果、中国経済の失速による影響が懸念されたものの、堅調に推移しました。また、生産部門である在ベトナム子会社D&Q JEWELLERY Co., Ltd(日本名:ディーアンドキュー ジュエリー)では、SPA企業として最適な製造体制の確立を目指すべく品質管理・工程管理の安定化を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,782百万円(前年同四半期比5.9%増)、営業利益68百万円(前年同四半期営業損失163百万円)、経常利益47百万円(前年同四半期経常損失160百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同四半期純損失116百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。その要因は主に、現金及び預金が138百万円減少したものの、商品及び製品が161百万円、原材料が34百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加いたしました。その要因は主に、社債が50百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が44百万円、長期借入金が30百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円減少いたしました。その要因は主に、為替換算調整勘定が25百万円減少し、配当金を22百万円支払ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は20.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期の業績予想につきましては、平成27年10月16日に公表いたしました数値を変更しております。詳細につきましては、本日（平成28年4月11日）公表いたしました「平成28年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	625,607	486,791
受取手形及び売掛金	778,234	784,212
商品及び製品	3,329,027	3,490,534
原材料	517,242	551,278
繰延税金資産	19,318	29,762
その他	229,280	144,792
貸倒引当金	△1,437	△218
流動資産合計	5,497,275	5,487,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	600,499	598,400
減価償却累計額	△300,679	△297,258
減損損失累計額	△9,756	△4,036
建物及び構築物(純額)	290,063	297,105
機械装置及び運搬具	90,689	86,497
減価償却累計額	△58,545	△59,510
機械装置及び運搬具(純額)	32,143	26,986
工具、器具及び備品	266,412	283,213
減価償却累計額	△184,081	△198,268
減損損失累計額	△904	△1,202
工具、器具及び備品(純額)	81,426	83,742
土地	90,478	90,478
リース資産	260,567	280,577
減価償却累計額	△114,171	△136,806
リース資産(純額)	146,396	143,771
建設仮勘定	2,521	—
有形固定資産合計	643,029	642,083
無形固定資産		
投資その他の資産	13,384	23,721
投資有価証券	98,132	96,942
繰延税金資産	57,589	58,853
差入保証金	503,425	512,818
その他	117,982	119,582
貸倒引当金	△6,926	△6,298
投資その他の資産合計	770,202	781,899
固定資産合計	1,426,616	1,447,704
繰延資産	3,010	1,881
資産合計	6,926,903	6,936,740

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,640	765,960
短期借入金	2,111,674	2,103,633
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	501,531	497,848
未払法人税等	11,997	41,912
賞与引当金	34,387	46,636
その他	242,012	232,358
流動負債合計	3,723,243	3,788,350
固定負債		
社債	50,000	—
長期借入金	1,230,146	1,260,296
退職給付に係る負債	172,349	182,484
リース債務	110,909	106,094
その他	166,353	166,383
固定負債合計	1,729,758	1,715,258
負債合計	5,453,001	5,503,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	156,563	136,878
自己株式	△13,150	△13,311
株主資本合計	1,437,506	1,417,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	400	71
為替換算調整勘定	16,118	△9,832
退職給付に係る調整累計額	△1,220	△610
その他の包括利益累計額合計	15,298	△10,371
新株予約権	21,096	25,842
純資産合計	1,473,901	1,433,131
負債純資産合計	6,926,903	6,936,740

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	4,516,384	4,782,669
売上原価	1,661,391	1,695,426
売上総利益	2,854,993	3,087,242
販売費及び一般管理費	3,018,125	3,018,329
営業利益又は営業損失(△)	△163,132	68,913
営業外収益		
受取利息	436	300
受取家賃	555	555
協賛金収入	1,153	—
為替差益	26,244	4,965
その他	928	1,928
営業外収益合計	29,318	7,749
営業外費用		
支払利息	19,760	20,983
社債利息	712	408
社債発行費償却	1,128	1,128
社債保証料	864	496
支払手数料	3,209	2,590
その他	1,295	3,636
営業外費用合計	26,971	29,244
経常利益又は経常損失(△)	△160,785	47,418
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	6,044
固定資産除却損	—	12,013
減損損失	—	8,387
特別損失合計	—	26,445
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△160,785	20,973
法人税、住民税及び事業税	27,475	30,005
法人税等調整額	△71,509	△11,848
法人税等合計	△44,034	18,157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,751	2,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,751	2,815



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,751	2,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	△329
為替換算調整勘定	35,706	△25,951
退職給付に係る調整額	△473	610
その他の包括利益合計	35,635	△25,669
四半期包括利益	△81,115	△22,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,115	△22,854
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△160,785	20,973
減価償却費	73,844	92,679
減損損失	—	8,387
固定資産除却損	—	12,013
店舗閉鎖損失	—	6,044
株式報酬費用	4,770	4,745
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△107	△1,197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,782	12,498
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,560	10,134
受取利息及び受取配当金	△526	△393
支払利息	21,336	21,888
支払手数料	3,209	2,590
社債発行費償却	1,128	1,128
為替差損益(△は益)	△27,079	9,312
たな卸資産の増減額(△は増加)	△517,053	△216,369
売上債権の増減額(△は増加)	66,768	△7,961
仕入債務の増減額(△は減少)	369,165	44,578
その他の資産の増減額(△は増加)	△102,488	88,280
その他の負債の増減額(△は減少)	△100,249	△21,043
小計	△373,287	88,290
利息及び配当金の受取額	526	393
利息の支払額	△21,866	△21,478
支払手数料の支払額	△3,209	△3,208
法人税等の支払額	△85,362	△4,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	△483,200	59,709
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△107,226	△85,129
無形固定資産の取得による支出	△900	△11,203
差入保証金の差入による支出	△54,994	△24,599
差入保証金の回収による収入	22,544	8,814
その他の支出	△8,067	△5,351
その他の収入	—	912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148,643	△116,557
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	△100,000
長期借入れによる収入	1,400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△237,180	△377,891
リース債務の返済による支出	△20,220	△22,156
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	—	△161
配当金の支払額	△22,323	△22,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	970,275	△72,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,928	△9,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	350,360	△138,816
現金及び現金同等物の期首残高	654,209	625,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,004,570	486,791

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。